

令和7年愛知県クリーニング師試験問題 (学科試験)

（ 令和7年11月21日
試験時間 午後2時30分 ～ 午後3時30分 ）

◎ 指示があるまで開いてはいけません。

注 意

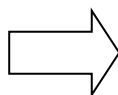
- 1 問題の解答は**必ず別に配布している解答用紙の答の欄**に書き入れてください。問題用紙に答を記入しても正解になりません。
- 2 問題用紙は1ページから13ページまであります。試験開始後に確かめてください。
- 3 解答用紙に受験番号と氏名を書き入れてください。
- 4 各問題とも**答を一つ選んで**、その**番号**を解答用紙の答の欄に書き入れてください。下の解答方法（例）を参考にしてください。
- 5 解答用紙の記入は、**鉛筆**又は**シャープペンシル**を使ってください。まちがって書いたときは、消しゴムできれいに消してください。
- 6 試験終了時、解答用紙は回収します。この問題用紙は持ち帰っても結構です。
- 7 試験時間中は、全て試験官の指示に従ってください。

解答方法（例）

〔問題〕

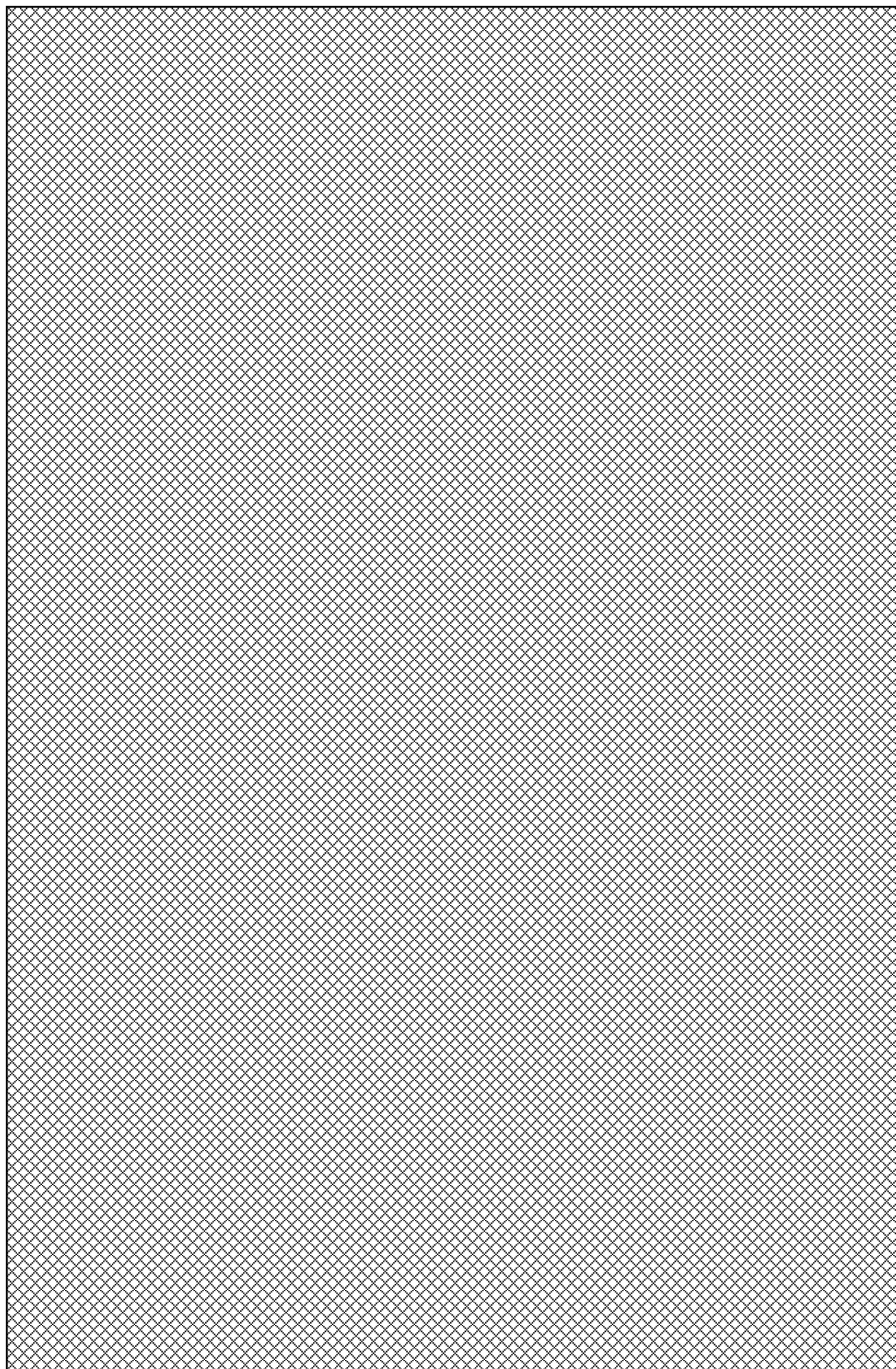
問1 次のうち、愛知県の県庁所在地はどれか。

- 1 名古屋市
- 2 豊田市
- 3 岡崎市



〔解答用紙〕

	答
問1	1
問2	
問3	



衛生法規に関する知識

問1 次の記述のうち、「クリーニング業法」第1条で規定する目的に**該当しない**のはどれか。

- 1 クリーニング業の経営を公共の福祉に適合させる。
- 2 クリーニング業の利用者の利益の擁護を図る。
- 3 クリーニング業の経営の安定及び改善を図る。

問2 次は、「クリーニング業法」及び「クリーニング業法施行規則」で規定する利用者に対する説明義務等に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 営業者は、洗濯物の特殊な処理を行う場合のみ、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- 2 クリーニング所の営業者は、洗濯物の受取及び引渡しに際しては、利用者に対し、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を明示しなければならない。
- 3 無店舗取次店の営業者は、苦情の申出先を使用する車両の外面への掲示又はデジタル技術を活用した方法により明示しなければならない。

問3 次は、「クリーニング業法」第2条で規定する定義に関する記述であるが、**正しいのはどれか。**

- 1 クリーニング業には、繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗濯し、さらにこれを貸与することを繰り返して行う営業を含む。
- 2 クリーニング業には、繊維製品をほどこし、反物状にして洗濯をした後、仕立て直しをする営業を含む。
- 3 クリーニング所には、洗濯物の処理又は受取及び引渡しをすることを業として行わず、洗濯機や乾燥機等の洗濯に必要な設備を設け、これを公衆に自ら利用させる施設を含む。

問4 次は、「クリーニング業法」で規定する営業者の届出に関する記述であるが、**誤りはどれか。**

〔(注) 「地域保健法」に基づく政令で定める市又は特別区については、この問題中の「都道府県知事」を「市長又は区長」と読み替える。〕

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置及び構造設備、その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- 2 開設中のクリーニング所において、その従事者数に変更が生じたときは、営業者は速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- 3 営業者の地位を承継しようとする者は、その事実を証する書面を添えて、その旨をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。

問5 次は、「クリーニング業法」及び「クリーニング業法施行規則」で規定するクリーニング師の研修に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後3年以内に都道府県知事が指定した研修を受けるものとされている。
- 2 都道府県知事が指定したクリーニング師の研修を受けたクリーニング師は、都道府県知事が指定した業務従事者に対する講習を受けた者とみなす。
- 3 クリーニング所の業務に従事していないクリーニング師は、3年を超えない期間ごとに厚生労働大臣が指定した研修を受けるものとされている。

問6 次は、「クリーニング業法」及び「クリーニング業法施行規則」で規定するクリーニング師の免許に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 クリーニング師は、その氏名を変更したときは、10日以内に免許証の訂正の申請を住所地の都道府県知事にしなければならない。
- 2 クリーニング師が死亡したときは、「戸籍法」に規定する届出義務者は、1月以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 3 クリーニング師は、クリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消されることがある。

問7 次は、「クリーニング業法」第9条の条文であるが、（ ）にあてはまる語句の組合せのうち、**正しい**のはどれか。

「都道府県知事は、営業者又は（ ア ）で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが（ イ ）、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、（ ウ ）その業務を停止することができる。」

- | | ア | イ | ウ |
|---|---------|------------|----------|
| 1 | クリーニング師 | 違反行為を行い | 期間を定めて |
| 2 | その使用人 | 伝染性の疾病にかかり | 期間を定めて |
| 3 | その家族 | 伝染性の疾病にかかり | 完治するまでの間 |

問8 次は、「クリーニング業法」及び「クリーニング業法施行規則」で規定する消毒を要する洗濯物（伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物）に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 消毒を要する洗濯物は、消毒の効果を有する方法によって洗濯される場合、洗濯前に消毒をしなくてもよい。
- 2 公衆浴場で使用された手ぬぐいやタオルは、消毒を要する洗濯物に該当しない。
- 3 消毒を要する洗濯物を取り扱う全てのクリーニング所は、他の洗濯物と区別して処理をするための専用の洗場を設けなければならない。

問9 次は、テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニングを行うクリーニング所に対する規制に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 「水質汚濁防止法」に基づき、管理要領を定めて点検を行い、その結果を点検表に記録し、3年間保存しなければならない。
- 2 「土壌汚染対策法」に基づき、開設後1年以内に敷地内の土壌汚染の調査を実施しなければならない。
- 3 「労働安全衛生法」に基づき、特定化学物質作業主任者を選任しなければならない。

問10 次は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 クリーニング師の免許を取得した者は、クリーニング所における特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものと認められる。
- 2 クリーニング所において生じた廃棄物の処分を処理業者に委託した場合、産業廃棄物の引渡し後から最終処分までの適正処理の責任は処理業者のみにある。
- 3 特別管理産業廃棄物を多量（年間50トン以上）に排出する事業者が産業廃棄物の処分を処理業者に委託する場合、電子マニフェストの使用が義務付けられている。

公衆衛生に関する知識

問11 次は、人口動態統計（厚生労働省）における、我が国の令和6（2024）年の死因順位に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 男女とも死因順位第1位は、「悪性新生物」である。
- 2 女性の死因順位第2位は、「腎不全」である。
- 3 男性の死因順位第3位は、「不慮の事故」である。

問12 次は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第4条の条文であるが、（ ）にあてはまる語句として、**正しい**のはどれか。

「国民は、感染症に関する正しい知識を持ち、その（ ）に必要な注意を払うよう努めるとともに、感染症の患者等の人権が損なわれることがないようにしなければならない。」

- 1 予防
- 2 治療
- 3 まん延防止

問13 次は、揮発性有機化合物（VOC）等に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 光化学オキシダントとは、自動車からの排出ガスや工場のばい煙に含まれる窒素酸化物及びVOCのことである。
- 2 市販されている衣類用防虫剤には、VOCが含まれるものはない。
- 3 しみ抜き等に用いられるクロロベンゼンは、VOCである。

問14 次のうち、「クリーニング所における衛生管理要領」（厚生労働省）で規定する、指定洗濯物（伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物）の一般的な消毒方法に**該当しない**のはどれか。

- 1 ホルムアルデヒドガスによる消毒
- 2 界面活性剤による消毒
- 3 消毒用アルコールによる消毒

問15 次は、衣類の食害に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 コロモジラミの幼虫は、絹織物を食害する。
- 2 ヒメマルカツオブシムシの幼虫は、毛織物を食害する。
- 3 コイガの成虫は、綿織物を食害する。

問16 次は、「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動(健康日本21(第三次))」(厚生労働省)に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 「食塩摂取量の減少」は、生活習慣の改善に関する目標として設定されている。
- 2 「平均寿命の延伸」は、最終的な目標として設定されている。
- 3 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、禁煙による予防が効果的であるとともに、早期発見が重要であるとされている。

問17 次は、温室効果ガスに関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 二酸化炭素は、地球温暖化に及ぼす影響が最も大きい温室効果ガスである。
- 2 ドライクリーニング溶剤としてハイドロフルオロカーボン(HFC)を用いることは、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」により一切禁止されている。
- 3 全ての温室効果ガスは、オゾン層を破壊する性質により温室効果を示す。

問18 次は、熱中症に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 職場における熱中症による死傷災害の発生状況(厚生労働省)によると、令和6(2024)年の職場での熱中症による死亡者数は、農業及び林業で全体の約半数を占めている。
- 2 暑さ指数(WBGT)は、労働環境及び運動環境の指針として有効であるとされている。
- 3 気温が同じでも、湿度が高い方が、熱中症を引き起こすリスクが高い。

問19 次は、食中毒に関する記述であるが、**誤り**はどれか。




- 1 食中毒統計（厚生労働省）によると、令和6（2024）年の患者総数のうち、ノロウイルスによる食中毒の患者数が最も多い。
- 2 有毒植物であるイヌサフランの球根は、タマネギと見た目が似ており、誤って食べると死亡することがある。
- 3 サルモネラ属菌による食中毒の潜伏期間（感染から発症までの時間）は、通常30分から2時間である。

問20 次は、疥癬^{かいせん}に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 疥癬の感染経路は、主に空気感染である。
- 2 疥癬は、ヒゼンダニが皮膚に寄生しておこる疾病である。
- 3 疥癬は、寝具及び衣類を介して感染することはない。

洗濯物の処理に関する知識

問21 次の日本産業規格 JIS L 0001:2024に規定する繊維製品の取扱いに関する表示記号とその意味の組合せのうち、**正しい**のはどれか。

	表示記号	意味
1		漂白処理はできない。
2		液温は、30℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
3		ぬれつり干し乾燥がよい。

問22 次は、ドライクリーニングの仕上げに関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 仕上げの最適な蒸気圧は、5 MPa (50kgf/cm²) 程度である。
- 2 仕上げに必要な条件は、洗濯物に応じた最適な湿気、気温及び圧力の3つである。
- 3 下ごて蒸気は、洗濯物をふくらませる効果があるため、柔らかく仕上がる。

問23 次は、毛皮のクリーニングに関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 毛皮のクリーニングには、ドライクリーニングが適している。
- 2 毛皮の保管は、温度20～25℃、湿度60～70%が最適である。
- 3 毛皮は熱に弱いため、仕上げは裏地にのみアイロンをかける。

問24 次は、動物繊維に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 カシミヤは、一般的に繊維の太さは羊毛より細く、絹のような光沢と柔軟で独特のぬめりがあり、軽くて温かい。
- 2 絹は、発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れる。
- 3 モヘヤは、アンゴラ兎からとれる毛で、細く柔らかい下毛と、それを保護している粗い毛があり、軽く、手触りがソフトで保温性に優れる。

問25 次は、染色に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 顔料は、水に溶解せず、繊維に結合する親和力がないため、接着用樹脂（バインダー）で染着させる着色剤である。
- 2 「洗濯堅ろう度試験」とは、重ね着などの衣料品同士のすれ作用による「他への色移りの程度（汚染）」を評価するものである。
- 3 ^{なっせん}捺染とは、染料を溶かした水の中に染める物を浸して全体に着色することをいう。

問26 次は、繊維の加工方法に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 モアレ加工は、布に接着剤を塗った後に、静電気を帯電させて、布面に細かく短い0.1～5.0mm程度の繊維の毛羽を振動や静電気により垂直に植え付ける加工である。
- 2 減量加工（アルカリ減量加工）は、ポリエステル生地を水酸化ナトリウムの熱水溶液に浸漬して繊維表面の組織を一部溶解し、風合いを改善する加工である。
- 3 ボンディング加工は、布と布を貼り合わせる加工である。

問27 次は、繊維素材の伸縮要因に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- 1 ハイグラルエキスパンションは、水分量の変化によって毛織物に生じる可逆的な寸法変化である。
- 2 バギングは、生地の特定期間に局所的な力が加わり、繊維または糸が伸長し、その部分が伸びて突出し、膨れた状態で固定される現象である。
- 3 フェルト化は、繊維が吸水することにより膨潤して繊維の直径が増大することにより、布全体が緻密化して収縮する現象である。

問28 次は、ランドリー用水に関する記述であるが、（ ）にあてはまる語句の組合せのうち、**正しい**のはどれか。

「ランドリー用水は、無色透明、無味無臭、液性は（ ア ）が望ましく、また、カルシウムやマグネシウムは、洗剤の力を低下させ、衣料を（ イ ）化させる原因となることから、（ ウ ）であること。」

	ア	イ	ウ
1	アルカリ性	黄褐色	軟水
2	中性	灰色	軟水
3	中性	灰色	硬水

問29 次は、漂白剤に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- 1 次亜塩素酸ナトリウムは、還元漂白剤で、高温で効果を発揮する。
- 2 次亜塩素酸ナトリウムは、絹の漂白に適している。
- 3 過炭酸ナトリウムは、ほとんどの染色物に適用できるが、含金染料染色物には使用不可である。

問30 次は、漂白剤の調製に関する記述であるが、（ ）にあてはまる数字のうち、**正しい**のはどれか。

「0.025%の次亜塩素酸ナトリウム水溶液を10 L調製するには、5 %次亜塩素酸ナトリウム水溶液が（ ） L 必要である。」

- 1 0.05
- 2 0.5
- 3 5